

< 実践事例 東京都立東大和高等学校 >

1. 取組・活動名

「スポーツ志向・オリパラ競技力向上を目指して」

2. 取組・活動のねらい

- 各部活動において、中学生を対象とした合同練習会を開催した。互いの競技力向上やスポーツを楽しむことを目的とし、高校生と中学生が同一種目で交流を行うことができた。
- 本校の卒業生でもあるオリンピックを招き、講演会を実施した。平昌五輪に出場した結果報告をしていただき、日頃の生徒自身の活動を見直す良い機会をつくることができた。
- 「チーム東大和」として、日頃の部活動の大会日程や結果等の共有、オリンピックに関連した授業での学習や有志活動の報告など掲示板を利用してオリパラ教育への理解と関心を高める。

3. 教育課程上の教科名・時数

「特別活動他・10時間」

4. 実施上の工夫

- ・「スポーツの振興」を教育目標とした本校の特色の一つである、「積極的な部活動」を活かした形でオリパラ教育を推進している。
- ・中学生との部活動体験の機会をより一層充実させ、大会等のオフシーズンや長期休業期間等時間的にも余裕のある時期に複数回にわたって実施した。
- ・より身近なオリンピックとして今回は本校卒業生を講師として招いた。当時の担任や授業担当者と一緒に登壇し、パネルディスカッションという形で実施した。
- ・できているようでできていない日頃の活動やその成果を共有するため、掲示板を購買前や体育棟に設置した。各部の部長中心に随時更新させている。

5. 本取組・活動の内容

「部活動体験会」

- ・陸上競技部の体験会では、100名を超える中学生が参加し、種目ごとの練習を実施した。暑い中での活動だったが、中学生、高校生ともに真剣に取り組んでいた。
- ・また、フィジカルコーチを招いてのトレーニング指導や、体のケア方法など、他の部活においても同様の活動を実施した。



アスリート講和

- ・平昌五輪直後に、本校卒業生のアイスホッケー女子日本代表選手に来ていただき、五輪の様子などについて話していただいた。
- ・五輪前に日本で行われた壮行試合には、教職員や同級生も駆け付け、日の丸を背負う床選手の姿を応援した。



「その他の取組」

- ・チーム東大和掲示板で大会情報を共有している。生徒の目につきやすい体育棟や購買前設置している。
- ・世界ともだちプロジェクトの一貫として「現代社会」の授業でオリンピック・パラリンピック参加国について調べたものを掲示している。
- ・体育の授業においてパラリンピックのスポーツ体験等を実施した。
- ・オリンピック掲示板を作成し、オリパラに関する活動を発信した。



6. 成果

- ・中学生との部活動合同練習会を、各々の競技レベルや課題に適した形で実施したことにより、中学生は今後の活動のよき見本を知り、高校生は指導する側として新たな視点から競技力に高めることができた。
- ・より身近な先輩がオリンピック選手として活躍していることから、オリンピックへの関心を高めるとともに、自身の各競技への取り組みを見直す良い機会を作ることができた。また、夢を持って挑戦し続けることの大切さを肌で感じることもできた。
- ・各部活動同士が良い刺激をシェアする中で、切磋琢磨していく学校の雰囲気が増えたことに加え、授業の取り組みや有志活動により「東京 2020 大会」への関心を高め、それに向けた取り組みを行っていく気運を築くことができた。
- ・本校では、生徒自身が活動への誇りと自覚を持ってそれぞれの部活動に取り組んでいる。学校生活においても部活動単位での活動が多くみられ、「スポーツ志向」の資質の高まりを感じている。